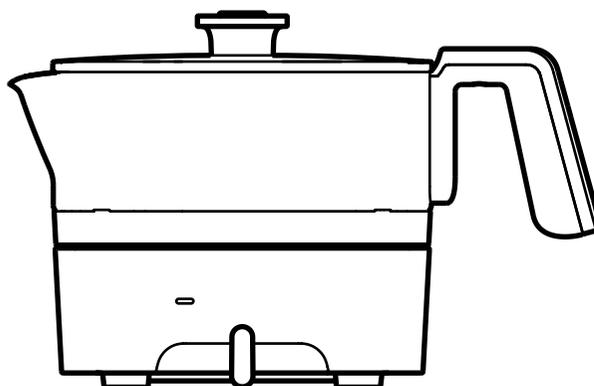


siroca

おりょうりケトル ちょいなべ

SK-M151



取扱説明書 保証書つき

このたびは、siroca おりょうりケトル ちょいなべ SK-M151をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	6
各部のなまえ	8
ご使用の前に	9
使いかた	10
お手入れ	14
よくあるご質問	15
仕様	17
部品・消耗品	17
アフターサービス	18
お客様相談窓口	19
保証書	20

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明

 **警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや操作に不慣れなかただけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、本体や操作部に水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

注ぎ口や蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

満水目盛(MAX 1000)以上の水や材料を入れない
お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

使用中は、無理にふたを開けない。移動させない
蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

調理以外の用途では使用しない
故障・やけど・けがの原因になります。



禁止

屋外で使用しない
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない
感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

延長コードは絶対に使わない
壁のコンセントは2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない
熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



マグネットプラグに金属が触れないように注意する

ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

電源プラグに蒸気をあてない

火災・感電・発火の恐れがあります。スライド式テーブルでは、電源プラグに蒸気があたらない位置で使用してください。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。
以下のような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



水ぬれ禁止

水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



禁止

電気カーペットの上では使わない

発煙・発火の原因になります。



禁止

沸騰中、注ぎ口に手や顔、水気に弱いものを近づけない

注ぎ口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあり、けが・やけど・故障の原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。



禁止

直射日光が当たるところで使用しない

変色の原因になります。



禁止

ガスコンロなどの火気の近くには置かない

感電・漏電・火災の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項

 **電源コードは必ず付属のものを使用する**
故障・発火の原因になります。

 **使用中や使用後しばらくは、高温部（ヒーターやケトル周辺部）に触れない**
やけどの原因になります。

 **取っ手にガタつきがある場合は使用しない**
けがの原因になります。

 **ふたを持って移動しない**
落下によるけが・故障の原因になります。ケトルや本体を移動する際は、冷えてからケトルの取っ手や本体の底を両手で持って移動してください。

 **重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない**
やけど・故障の原因になります。

 **揚げ物・焼き物・炒め物をしない**
油を入れると高温となり、破損・故障の原因になります。

 **空だきをしない**
変形・変色・故障の原因になります。

 **市販のタイマー機器を接続して使用しない**
故障の原因になります。

 **お手入れは冷えてから行う**
高温部に触れ、やけどの原因になります。

 **付属品を電子レンジ・オーブン・オーブンレンジなどで使用しない**
破損・変形の原因になります。

 **金属製のへらなどは使用しない。ケトルで米を研がない。洗いおけ代わりに使用しない**
ケトルに傷が付く原因になります。

 **ケトルを直火にかけない**
変形・変色の原因になります。

 **ケトルを落としたり、変形させたりしない**
故障の原因になります。

 **ふたなどは付属品以外のものを使用しない**
破損・故障の原因になります。

 **調理量の最大量と最小量を必ず守る**
やけど・けがの原因になります。

 **ヒーターと本体の間に汚れや異物が挟まれているか確認して電源を入れる**
汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。
本体の上に水や調理物をこぼした場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

| 使用上のお願い

ご注意

- 取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

設置について

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しない。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにする。(故障の原因)

調理前のご注意

- ふたの蒸気口と通気口が詰まっていないことを確認してから使用する。(けが・やけど・故障の原因)
→「お手入れ」14ページ
- 調理前に、本体とケトルのあいだにガタつきがないことを確認する。(故障の原因)
- ケトルや本体などに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しない。(故障の原因)
→「お手入れ」14ページ
- ケトルと本体のあいだに水などの液体を入れない。(故障の原因)

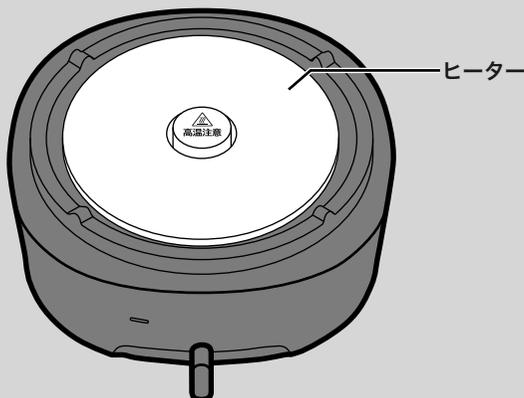
調理中・調理後のご注意

- 本体にケトルを載せたまま水や材料を入れる場合、本体を水などで濡らさないようにする。(故障・けが・やけどの原因)
- 調理中に水や材料を追加する場合、吹きこぼれないようにする。(けが・やけど・故障の原因)
- 調理中や調理の直後は、移動させない。(けが・やけどの原因)
- ケトル、本体が熱い状態で、絶対にふたを無理やり開けない。(けが・やけどの原因)
- 沸騰し続け、空だきをさせない。(変色・変形・火災・故障の原因)
- 調理中、ケトルや本体にふきんなどをかけたままにしない。(変色・変形・火災の原因)



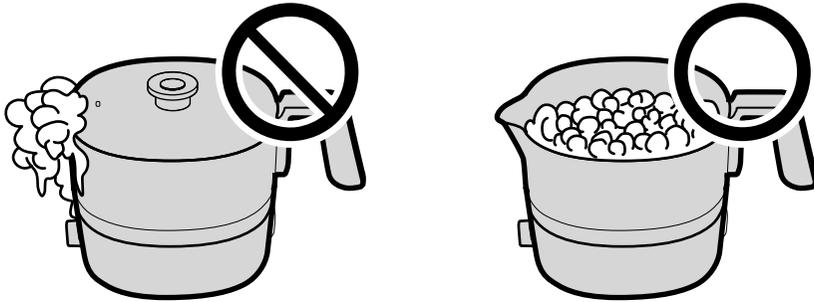
- 調理中・調理の直後は高温になるため、絶対にふた、ケトル、ヒーターには触らない。手や顔を近づけない。(やけどの原因)
- 調理後、本体に何かを置かない、覆わない。
ヒーターはとても高温になるため、置かれた物の材質によっては火災の危険性があります。

本体



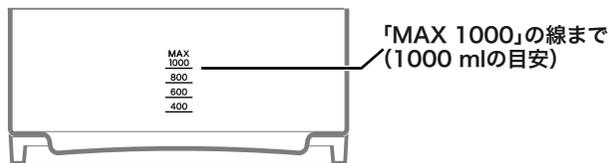
湯沸かし以外の調理について

- ケトルにふたをして調理をしない。吹きこぼれないようにする。(けが・やけど・故障の原因)



調理量について

- ケトルの「MAX 1000」の線以上に、水や食材を入れて使わない。(けが・やけどの原因)



調理禁止の食材について

- 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない(やけど・故障の原因)
- 揚げ物・焼き物・炒め物をしない(油を入れると高温になり、破損・故障の原因)

ケトルを長くお使いいただくために

ケトルのコーティングを傷つけないため、お守りください。

- ケトルで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしない。
- かたい食材を調理する際は、ケトルの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしない。
- 金属製のヘラやおたまなどは使用しない。

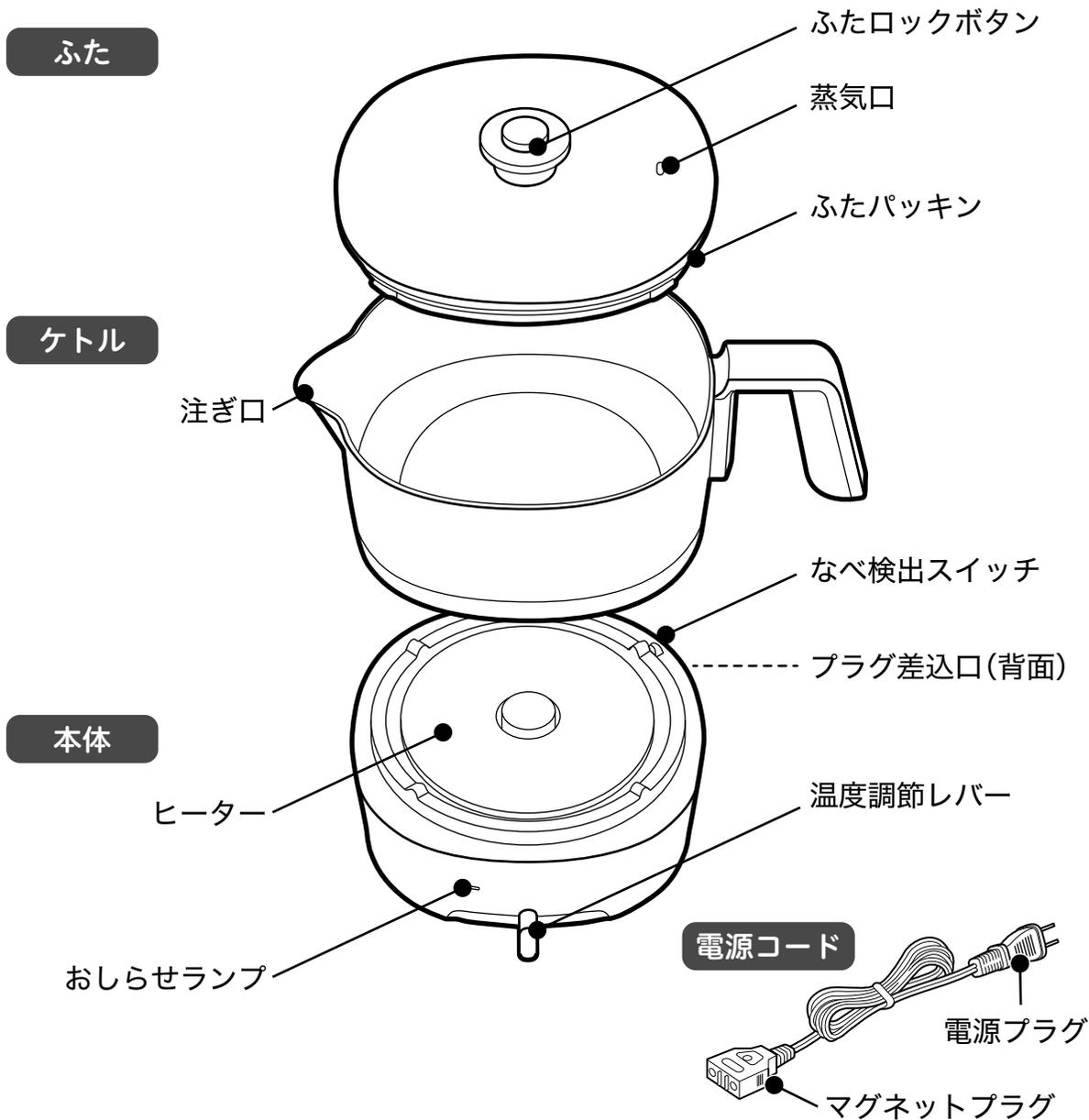
▶ 空だき防止機能について

ケトルが空の状態でも温度調節レバーを動かして温度を設定すると、過熱による事故や故障を防ぐために空だき防止機能が働き、おしらせランプが赤く点滅し自動的に加熱が止まります。

ご注意

- 空だき防止機能が働いた場合は、必ず温度調節レバーを「OFF」の位置に戻してください。
- 空だきをすると、変形・変色・故障の原因になります。

各部のなまえ



おしらせランプについて

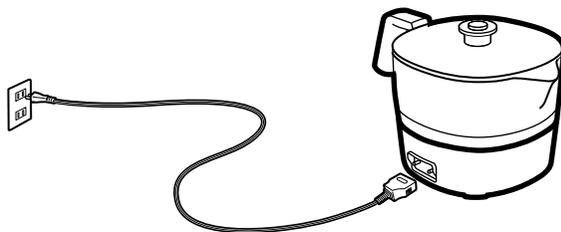
- 消灯：電源OFF
- 赤点灯：加熱中(ケトルの温度が温度設定より低い場合)
- 緑点灯：保温中(保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプも消灯します)
- ⊞ 緑点滅：加熱停止中(ケトルの温度が温度設定より高い場合)
- ⊞ 赤点滅：エラー (速い点滅：空だき／遅い点滅：加熱中にケトルを動かしたとき、温度調節レバーが「OFF」になっていない状態で電源コードをつないだとき)

ご使用前に

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。14ページの「お手入れ」を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

電源コードについて

温度調節レバーが「OFF」になっていることを確認し、電源コードを背面のプラグ差込口に接続します。



ご注意

- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ふたの開けかた、閉めかた

開けかた

ふたロックボタンを押し、ロックを解除してふたを持ち上げてください。



ロック・ロック解除は、ふたのロックボタンの赤いしるしで確認できます



ロックしています
赤いしるしが見えません



ロックを解除しています
赤いしるしが見えます

閉めかた



①ふたをつけるときは、真上から「カチッ」と音がるまで押してください。



②ふたロックボタンを押して完全にロックしてください。

| 使いかた

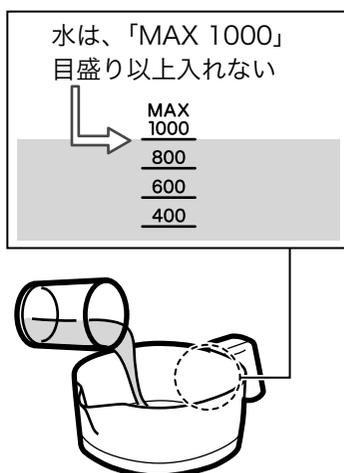
本製品は、温度調節レバーで温度を調節することができます。お湯を沸かすケトルとして使ったり、料理を調理するなべとして使ったりすることができます。調理例については、特設サイト(13ページ)のレシピをご覧ください。

湯を沸かす

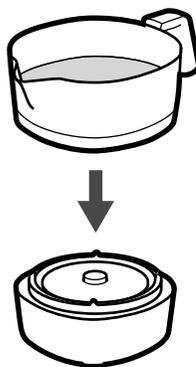
1 ケトルに水を入れ、本体に載せる

- 早くお湯を沸かす場合は、ふたをしてください。
▶ 「ふたの開けかた、閉めかた」 **9ページ**

①別の容器を使い、水を入れる



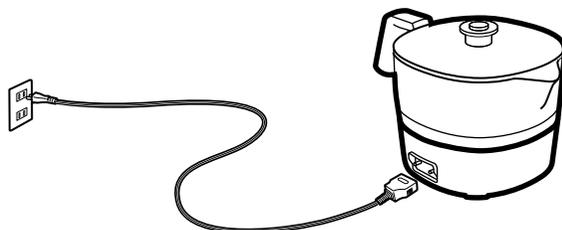
②ケトルを本体に載せる



ケトルと本体のあいだに水や異物が無いことを確認してください。

2 本体のプラグ差込口にマグネットプラグを取りつけて、電源プラグをコンセントに差し込む

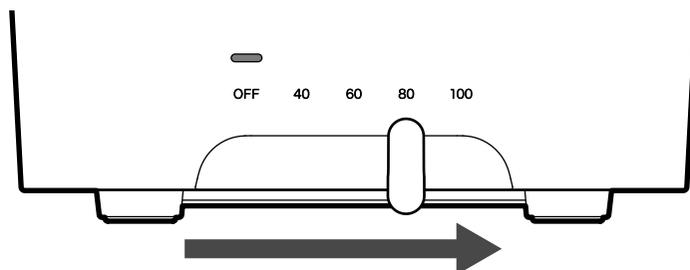
- ▶ 「電源コードについて」 **9ページ**
- ▶ 「電源コード・電源プラグについて」 **3ページ**



3

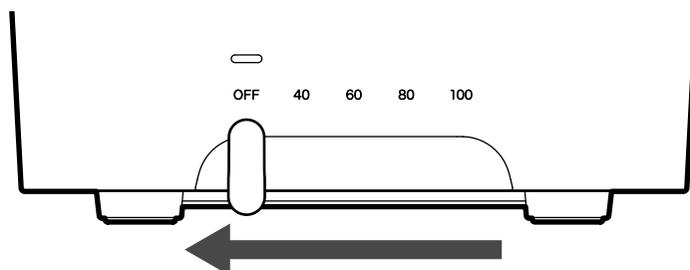
温度調節レバーを動かして温度を設定する

- 設定した温度になるとブザーが鳴ってお知らせし、そのまま自動的に設定した温度を保ち続けます。
- 保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプが消灯します。
- 加熱温度の設定は、40°Cから100°Cです。40°C以下は設定できません。



4

加熱をやめるときは温度調節レバーを「OFF」にする



5

電源プラグ、マグネットプラグの順に抜く

ご注意

- 加熱中や加熱直後のヒーターは、とても高温です。やけどやけがの原因になるので完全に冷めるまでは絶対に触れないでください。
- 加熱中にケトルを本体から動かすと、おしらせランプが赤く点滅し加熱が止まります。温めなおす場合は、温度調節レバーを「OFF」にして温度を設定しなおしてください。
- 加熱直後のケトルの底は高温となるため、熱に弱いテーブルには直接置かないでください。加熱直後は鍋しぎに載せることをおすすめします。
- 沸騰中、注ぎ口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあります。手や顔、水気に弱いものを近づけないでください。けが・やけど・故障の原因になります。

調理をする

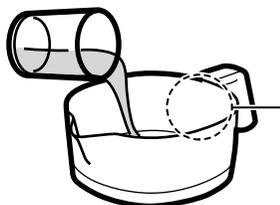
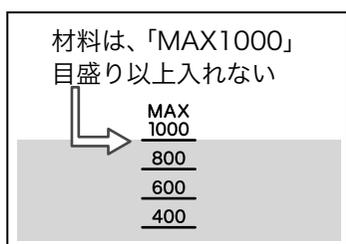
1

ケトルに材料を入れ、ふたを開けて本体に載せる

ご注意

- ケトルにふたをして調理をしないでください。吹きこぼれて、けが・やけど・故障の原因になります。

①別の容器を使い、材料を入れる



②ケトルを本体に載せる



ケトルと本体のあいだに水や異物が無いことを確認してください。

ご注意

吹きこぼれないように、ケトルにふたをしないでください。

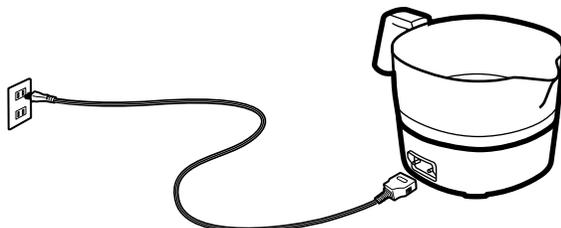


2

本体のプラグ差込口にマグネットプラグを取りつけて、電源プラグをコンセントに差し込む

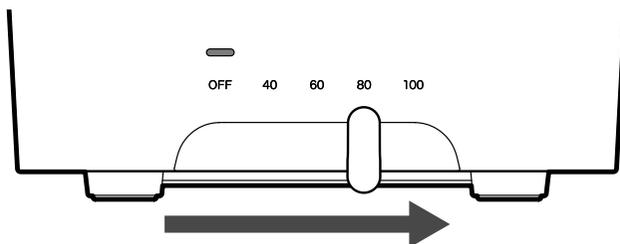
➔「電源コードについて」9ページ

➔「電源コード・電源プラグについて」3ページ

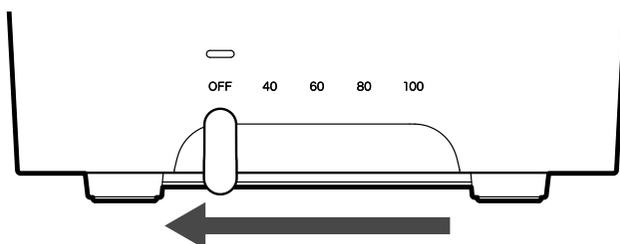


3 温度調節レバーを動かして温度を設定する

- 設定した温度になるとブザーが鳴ってお知らせし、そのまま自動的に設定した温度を保ち続けます。
- 保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプが消灯します。
- 加熱温度の設定は、40°Cから100°Cです。40°C以下は設定できません。



4 調理や保温をやめるときは温度調節レバーを「OFF」にする



5 電源プラグ、マグネットプラグの順に抜く

ご注意

- 加熱中や加熱直後のヒーターは、とても高温です。やけどやけがの原因になるので完全に冷めるまでは絶対に触れないでください。
- 加熱中にケトルを本体から動かすと、おしらせランプが赤く点滅し加熱が止まります。温めなおす場合は、温度調節レバーを「OFF」にして温度を設定しなおしてください。
- 加熱直後のケトルの底は高温となるため、熱に弱いテーブルには直接置かないでください。加熱直後は鍋しきに載せることをおすすめします。

レシピについて

下記のURLや二次元コードから、本機の専用レシピをパソコンで調べることができます。また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。



おりようりケトル ちょいなべ
専用レシピ特設サイト
www.siroca.co.jp/recipe/cookingkettle/



お手入れ

ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本製品が冷えてからお手入れをしてください。高温部に触れ、やけどの原因になります。
- 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体やヒーターに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

お手入れする

本体/ヒーター/温度センサー

やわらかいふきんで拭きます。

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

温度センサー
ヒーター



ご注意

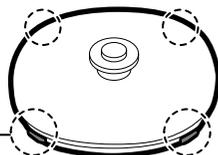
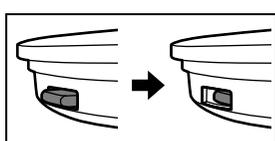
- 必ず、お手入れは冷えてから行ってください。高温部に触れ、やけどの原因になります。

ケトル/ふた

ケトル、ふたはお使いになるたびに必ず洗ってください。

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。スポンジはやわらかいものを使用してください。使用する前に、必ず次のことを確認してください。

- ふたの蒸気口が詰まっていないこと
- 水気が残っていないこと
ふたの中に水気が残る場合は下記の手順で水気を切ってください。
 - ① ふたがよく冷えるまでさます
ふたが熱いと、熱湯でやけどの原因になります。
 - ② ツメを指で内側に押し込みながら、水気を切る
ツメとふたのあいだに隙間を作り、隙間から水分を取り出してください。



ツメ(4か所)

▶ 保管するときは

充分に乾燥させ、ポリ袋などで密封し、虫やほこりなどが入らないようにして保管してください。

よくあるご質問

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 作動しない。沸騰前に止まってしまう。

A1 電源プラグが抜けていませんか。 > 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

A2 ケトルが本体に正しくセットされていますか。 > ケトルを本体の上に正しくセットしてください。

A3 温度調節レバーがOFFになっていませんか。 > 温度調節レバーをON（レバーが温度の位置に移動している状態）にしてください。

A4 ケトルおよび本体に金属片やごみが付着していませんか。 > いったん温度調節レバーをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてからケトルの底面やヒーターに付着している金属片やごみを取り除いてください。

A5 水が入っていない状態で温度調節レバーをON（レバーが温度の位置に移動している状態）にしていませんか。 > 水が入っていない状態で空だきをすると、空だき防止機能が作動して、ヒーターの加熱を一時的に停止します。いったん温度調節レバーをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、ケトルと本体の熱を十分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。

A6 ケトルが変形していませんか。 > ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q2 沸騰が止まらない。／沸騰してもすぐに電源が切れない。

A 本製品は、設定した温度になるとブザーが鳴り、60分間設定温度を保ち続けます。

Q3 注ぎ口や蒸気口からお湯がふき出る。

A1 満水目盛(MAX 1000)以上の水を入れていませんか。 > 水は満水目盛(MAX 1000)以下にしてください。

A2 水以外を調理するとき、ふたを閉めていませんか。 > 水以外を調理するとき、必ずふたを外して調理してください。

Q4 湯沸かし中の音がいつもより大きい。

A 本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。

水アカなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。ケトルはお使いになるたびに必ず中性洗剤で洗ってください。汚れがひどい場合はクエン酸洗浄を行ってください。

Q5 ふたが閉まらない

A1 ケトルの外側、ふた、パッキン、枠などに食品かすなど、異物が付着していませんか。

異物を取り除いてください。

A2 ケトルが変形していませんか。

ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q6 お湯を沸かすとプラスチック臭がする。

A 使い始めのうち、ふたのプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちにおいは少なくなります。気になる場合は1～2回お湯で洗浄してからお使いください。

Q7 ヒーターやケトルの底の色が変わった。

A 熱が加わることで色が変わりますが、製品の異常ではありません。

ご注意

- ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、温度調節レバーを「OFF」にして調理を中止し、電源プラグを抜いてください。

| 仕様

品名(型番)	おりょうりケトル ちょいなべ(SK-M151)
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	1200 W
質量(約)	1.8 kg
外形寸法(約)	幅28.2 cm ×奥行18.2 cm ×高さ18.3 cm
電源コードの長さ(約)	1.3 m
調理容量	1 L
温度過昇防止装置	温度ヒューズ
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店、または、弊社サポートストアでお買い求めください。

プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード
ケトル	SK-M151-KB
ふた	SK-M151-KL
電源コード	SK-M151-DC

| アフターサービス

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

—— 長年ご使用の製品の点検を! ——

- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様相談窓口

ご相談・ご依頼

修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

シロカサポートセンター

▶ 電話 **ナビダイヤル  0570-001-469**

※上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

▶ 受付時間 **10:00 ~ 17:00** (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください)

おねがい

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。

▶ ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

消耗部品・別売品のご注文

消耗部品・別売品は、販売店のほかに、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

シロカサポートストア

<https://siroca.jp/>

※ 商品により、お取り扱いがない部品がございます。
シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、もしくは弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

型番 ：SK-M151	ご購入日 ： 年 月 日
保証期間 ：お買い上げ日より本体1年間	シリアルNO. ：
お客様 ： ふりがな	販売店 ：店名・住所・電話
お名前 ：	
ご住所 ：	
お電話 ：	※購入日を証明するレシートまたは送り状などを必ず添付してください。 証明がない場合、保証対象にならない場合があります。
シロカサポートセンター 電話：ナビダイヤル  0570-001-469 ※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800 受付時間：10：00～17：00 (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください) ホームページ https://siroca.co.jp/	シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
<p>この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。 お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、もしくはサポートセンターまでご依頼ください。</p> <p>1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。(2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。(3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。(4) 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。(5) 一般家庭以外(例えば業務用など)で使用された場合の故障または損傷。(6) 本書のご提示がない場合。(7) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。(8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。(かすり傷、へこみなどを含みます)(9) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。(10) 腐食による故障、及び損傷(11) 故障の原因が本製品以外(電源など)にあって、それを点検、修理した場合。(12) フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。(13) 日本国外で使用された場合。 <p>2. お買い上げ店などへご持参いただく際の交通費、サポートセンターへご送付いただく際の送料、諸掛りはおお客様のご負担となります。</p> <p>3. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。</p> <p>4. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。</p> <p>5. 本書に基づく無償修理(製品交換を含みます)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。</p> <p>6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。</p> <p>7. 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する付随的損害については、弊社では一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社では一切の責任を負いかねます。</p> <p>8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。</p> <p>9. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.</p> <p>この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。</p>	

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp